

令和7年度第3回せたな警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和8年2月19日（木） 午前10時43分から午後0時4分までの間

2 開催場所

函館方面せたな警察署 2階会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 ～ 5人（定数5人）

会 長	土 橋 直 美
副 会 長	大久保 麻 未
委 員	藤 谷 篤
委 員	安 藤 健 次
委 員	下田屋 守

(2) せたな警察署 ～ 5人

署 長	宮 下 賢 一
副 署 長	土 谷 渉
刑事・生活安全課長	竹 内 裕 貴
地域・交通課長	岩 館 秀
警備係長	

(3) 函館方面公安委員会（オブザーバー）～1人

委 員	岡 崎 圭 子
-----	---------

4 会長挨拶

警察を含めた官民連携によるテロ対策については我々が知らないことも多く、今回の協議会で理解を深めるとともに、警察活動に対する意見・提案を述べていきたいと思っております。

5 署長挨拶

防犯や防災、ヒグマ対策など官民が連携するべき事象は多くあります。

警察は関係機関・団体と連携してこれら事象に対応してまいりますので、今回も忌憚のないご意見をお願いします。

6 業務概況説明

7 諮問事項

(1) 官民連携によるテロ対策の推進

ア 諮問事項の説明

国際テロ情勢、対策の意義と重要性、警察が行う対策について説明した。

イ 委員の意見、質問

（委員）

国際テロは身近なことではないが、普段の生活の中で、見慣れない人や車

を見かけたり、その他いつもと違うことがあれば、警察に相談、情報提供することの重要性を改めて認識した。

(委員)

ただし、「これくらいのことで・・・」と思って通報や相談をためらう人もいるかもしれない。

(警察)

国際テロ対策に限らず、防犯や交通安全など、警察が業務を推進していく上で住民の協力は不可欠である。

不安や疑問を気軽に相談できる警察であるために今後も努力していく。

(委員)

警察がこうした活動を行っていることは認識しておらず、例えばテロ対策パートナーシップ協議会の存在も知らなかった。

テロ対策を効果的に推進するためにも、警察活動を広く知ってもらうためにも、広報啓発活動は重要だと思う。

(警察)

テロ対策を含め、警察活動を住民に理解してもらうための広報啓発活動を継続していく。

(2) その他

ア 運転免許の高齢者講習に関する質問があり、手続や内容等、概要を説明した。

イ 警察相談専用電話#9110に関する質問があり、110番や警察署の電話との基本的な区分について説明した。

8 鑑識業務（指紋採取）体験

署長が講師となり、犯罪被害に遭った場合に被害者がとるべき措置について説明したのち、鑑識業務（指紋採取）について説明、実技体験を行った。

9 次回の開催予定

令和8年4月以降を予定